



支援員だより

Vol. 79

ほんやく えほん 翻訳された絵本をよんでみよう！

こんかい 今回は、翻訳した人に注目して4さつの外国の絵本を選んでみました。
また、この4さつの本には共通するテーマがあります。为什么呢？

ほんやく
翻訳とは・・・
げんご
ある言語(ことば)でかかれた
文を、ほかの言語(ことば)に
おきかえることです。

『だれのせい？』

さく・ダビデ・カリ
やく・ヤマザキマリ



ヤマザキマリさんは、マンガ『テルマエ・ロマエ』の作者です。この作品がはじめてのほんやく翻訳だそうです。



森にすむクマは木という木を切りまわります。その結果…。



『プラスチックのうみ』

さく・ミシェル・ロード
やく・川上拓士

2020年にこの本を翻訳した川上君は、当時小学5年生でした。まっすぐな日本語で大切なことを伝えてくれます。

なかがわちひろさんは、「おたすけこびと」シリーズなど、絵本や子どもむけの本をたくさんかいています。



とつぜんやってきたくじらのせいで、まちは大さわぎ。くじらはどうして海にいられなくなったのでしょうか。

『あるひくじらがやってきた』

さく・ニック・ブランド
やく・なかがわちひろ

『クレムとカニさん』

さく・フィオナ・ランバース
やく・久保純子



くぼじゅんこ
久保純子さんは、有名なアナウンサーです。



クレムが海辺で遊んだ帰り、カニさんがついてきてしまいました。海とカニさんのためにクレムがしたことは…。

こたえは！

SDGsです。みんながたちどまって、それぞれの行動を少し考えること、たいせつですね。



つぎに支援員がくるのは…